



ククル・ユクル・トゥクル ～心安らく所～



Concept

沖縄の自然景観や中城村の歴史や文化を身近に感じることができるよう計画し、遊びの場、憩いの場としてだけでなく学びの場としても利用することで中城村の地域教育に寄与できる建築を提案します。



Location

本計画地は中城公園自然共生エリアにあります。周辺に高い建物がなく森に囲まれ、園内にはピオトープが整備されており自然を感じられるロケーションとなっています。また、公園内にはさまざまな遊具があり、計画敷地に隣接するトランポリン遊具周辺は多くの家族連れで賑わっています。



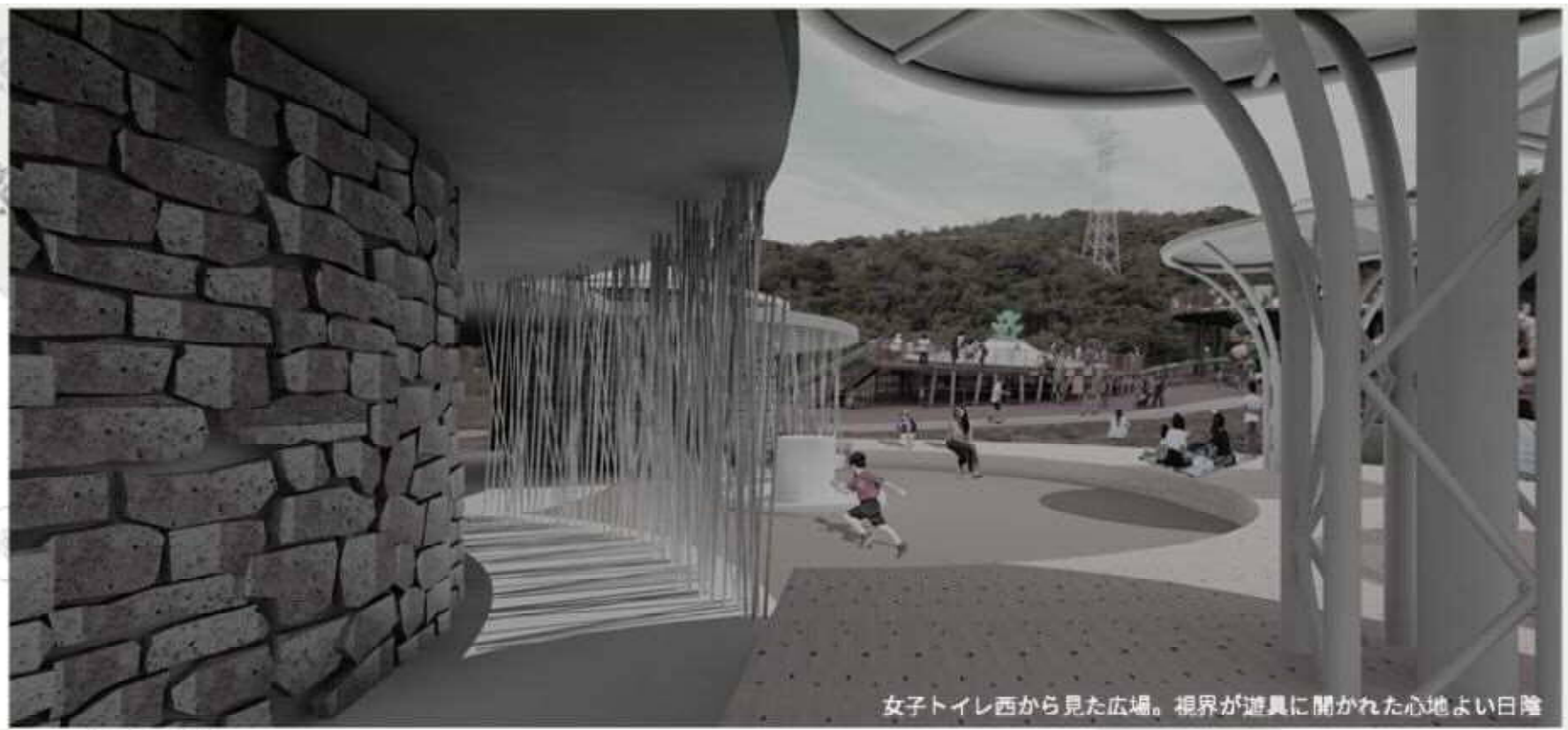
亜熱帯のジャングルを探検する。
上下左右に曲がりくねって先が見えずワクワク。



伸びたひげが幹を支えてどこまでも広がる。
どこからどこまでが同じがじゅまる？



空を見上げる。
緑の間からの木漏れ日と風が気持ちいい。



Ideas

I. 自然を体感する

山や森などの自然の道はクネクネとして先が見えず、突如として思いがけない場所に辿り着くことがあります。本計画も回廊を通り目隠しルーバーを抜けた先に憩いの場となるテラスがありその奥には中城公園を取り囲む木々が見え自然をより感じられることを意図した計画としています。

II. 歴史を学ぶ

3つのトイレは琉球石灰岩張りとなっており、中城城跡の石積み模倣し、野積み、布積み、相方積みと3種類の積み方に似せた琉球石灰岩張りとして中城城跡の歴史を感じることができるとともに景観にも配慮しました。

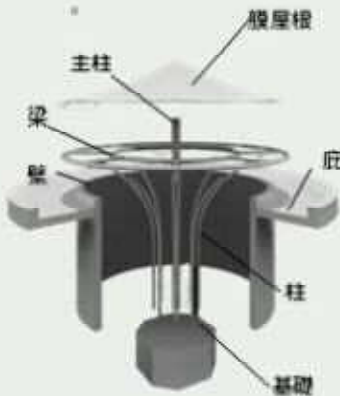


▲野石積み ▲布積み ▲相方積み

III. 設計概要

■設計概要
構造：壁式RC造+鉄骨造
規模：平屋建て
延べ面積：41.54㎡

■仕上げ
壁：琉球石灰岩(野積み/布積み/相方積み)
床(トイレ)：コンクリート全躯体仕上げの上保護塗装
床(回廊)：ゴム舗装
屋根：膜屋根
ルーバー：異形鉄筋溶融亜鉛メッキ仕上げの上塗装
デッキ：セラガンバツ 浸透性塗料2回塗



Future

将来的に、隣接する森が侵食し木々に埋もれ、木陰が膜屋根に映り込むことで変化にこたえた空間になります。

IV. 空間の構成

建物の空間構成に関しては、多目的トイレ、男子トイレ、女子トイレを横別で配置し、棟間を回廊でつなぎ、回廊を抜けると洗い場とウッドデッキからなる憩いの場に繋がっている空間配置となっています。各トイレを回廊で繋ぐことで動線計画に回遊性が生まれ、回廊そのものが遊具となり子供たちの遊び場となります。

- ①回廊について
回廊の床仕上げはトランポリン遊具と同じゴム舗装となっており、滑りにくく安全面にも考慮し意匠的な統一も図っています。
- ②日陰について
憩いの場となる肩テラスには独立した膜屋根のテントを設置し、トランポリン遊具で遊ぶ子供達を見守る保護者の日陰をつくります。
- ③洗い場について
憩いの場の中心に洗い場を設けることでその場で汚れを落とすことができ建物に求心性を持たせます。
- ④屋根について
膜屋根とし自然光を室内に導くことで昼間は照明を付けることが不要となります。さらに、トランポリン遊具の意匠的な統一感も図ることで、公園全体の景観的調和を図ります。
- ⑤目隠しルーバーについて(プライバシー)
目隠しルーバーはガジュマルの根を意匠的デザインに取り入れ、日が当たると線状の影が回廊に伸び森の中のような雰囲気を出します。
- ⑥防犯について
男子トイレ、女子トイレも回廊より2箇所からアプローチが可能となり開放的なトイレとなっています。

IV. コストについて

鉄骨をユニット化し工場生産することでコストを抑えます。日中明るいので照明のコストも抑えられます。

